



月例山行

金華山 329m 9月25日

市橋、水谷、中村、伴野

▲達目洞 P9
時、鷹巣山
232m⇒妙見
峠⇒展望台⇒
山頂 11時20
分下山開始⇒
鼻高コース⇒
P12 時20分



着 太古海底より隆起した岩場登りを楽しみ、なだらかな道を下る。家族連れハイカー客で山頂は大賑わいだが一味違う静かな山行ができた。

—記録：伴野



個人山行

大川入山 1,908m 9月10日

水野単独 先日 月例山行で登った蛇峠山の国道を挟んで反対側の南信州の山。

▲ 大川入山登山口 7:45、横岳 8:30、大川入山山頂 10:15 到着 晴天時は奥三河や南アルプスの眺望が楽しめるものの、この日は一面霧の中で眺望が一切効かず一気に登る。

山頂で一瞬雲が切れたタイミングで居合わせた登山者に写真を撮ってもらっても、すぐにガスってきたため早々に下山する。下山後どんぐりの湯で汗を流そうと寄ったものの、休館中で止む無く帰宅の途につく。

個人的には好きな山にて、紅葉時期や冬山練習に是非又登りたいと思料。

御岳山頂で初の避難訓練 9月17日

死者57人、不明6人



▲2014年の噴火災害を教訓に整備したシェルターを使い、木曽町が登山者の避難訓練を実施、防災科学技術研究所や名大、地元住民、県などが協力し、登山者の行動を記録した。

④



ラダック便り・沖

平均年齢 70 歳

沖総隊長以下総勢7人

インド 日本山岳会東海支部の登山隊
試練乗り越え 未踏峰に登頂
R4.9.22 9/22 中日
未踏峰の山への登頂を果たした登山隊の

東海支部 60周年記念登山
第14次インドヒマラヤ登山隊報告
インド・ヒマラヤ ラダック州北部・ラダック山脈
Shaldor Ri (5942m) 初登頂、Dzo Jongo (6211m) 東峰第2登
総隊長 沖允人 隊長 星一男

インド・ヒマラヤ登山隊報告が沖総隊長から届きました。既報の③に続き ④から抜粋記事を順次掲載します。

▲6月21日 登山隊はデリーに到着。IMF(インド登山財団)を訪問、登山許可の最後の要請を行うも、第一目標のパンゴン山脈・Merak 峰と第二目標のラダック山脈のLargapはインド政府から許可されず、第三目標のラダック山脈・KangYisayと周辺の無名峰に変更申請、許可書を得た。

隊は隊員7名のほかりエソンオフィサー、現地スタッフなど8名の総勢15名である。

▲6月23日 空路ラダックの首都レー(3505m)に移動、準備と高所順応のため数日滞在。

▲6月28日車5台とトラック1台でレーを出発、キャラバンコースに入り車道の終点に到着、24頭の馬に隊荷を積み谷に沿って出発した。



キャラバンは河原、山の斜面を進み5時間で中継点のキャンプ地に到着した。
—以下次号